

## 5月の金融政策、政治・経済イベント

楽読(ラクヨミ)

nikko am  
fund academy

4月は、主要産油国による原油の増産凍結に向けた協議で結論が持ち越しとなったものの、需給改善期待が高まるなか、原油価格が回復基調となりました。加えて、堅調な経済指標を背景に中国の景気減速懸念が後退したことなどが好感され、株式市場は総じて堅調な推移となりました。ただし、28日に、追加緩和の決定が期待されていた日銀の金融政策決定会合で、金融政策が据え置きとなったことが嫌気され、日本株式が急落したほか、為替は円高米ドル安が進み、月末には1米ドル=106円台となりました。

5月は、26~27日に日本で主要国首脳会議(伊勢志摩サミット)が開催されます。安倍首相は、景気下支えのため財政出動などで国際協調をめざすとみられており、具体的な内容にどこまで踏み込めるのかが注目されます。また、国内景気の下入れのため、サミットに合わせ、政府から大規模な経済対策が示されれば、公共投資の拡大などを通じて、株式市場の追い風になると期待されます。さらに、来年4月予定の消費税率引き上げについても、景気への影響を懸念する声が国内外で高まるなか、サミット前後に増税先送りが決定されるとの見方が強まっており、先送りとなった場合、市場に安心感が拡がると見込まれます。一方で、増税先送りや経済対策を、市場はある程度織り込んでいるとの見方も強く、政策決定が期待外れと受け止められた場合、市場の逆風となる可能性も懸念されます。

また、18日には、日本の2016年1-3月期GDP速報値が発表されます。消費や生産が依然として低調なことなどから、2四半期連続のマイナス成長になるとの見方もあり、政策判断に影響を及ぼす可能性が見込まれます。このほか、ブラジルでは、ルセフ大統領の弾劾を巡る審議の行方に注目が集まります。下院では4月に弾劾案が可決されており、上院本会議でも5月上旬に投票が行なわれるとみられます。なお、上院で過半数が賛成した場合、大統領は職務停止となり、副大統領が代行を務めることとなります。弾劾成立に伴う改革への期待の高まりは、市場で好感されるとみられます。

## 5月の注目される金融政策および政治・経済イベント

5月	予定	
1日(日)	■ 中国、4月の製造業PMI	
2日(月)	■ 米国、4月のISM製造業景況指数	
3日(火)	● オーストラリア、金融政策決定会合	
6日(金)	■ 米国、4月の雇用統計	
8日(日)	■ 中国、4月の貿易統計	● 金融政策関連
12日(木)	● 英国、金融政策委員会	■ 政治・経済関連
17日(火)	■ 米国、4月のCPI(消費者物価指数)	
18日(水)	■ 日本、2016年1-3月期GDP(1次速報)、 ● 米国、4月のFOMC(連邦公開市場委員会)議事録の公表	
20日(金)	■ G7(主要7カ国)財務相・中央銀行総裁会議(～21日、仙台)	
24日(火)	● トルコ、金融政策決定会合	
26日(木)	■ 主要国首脳会議(伊勢志摩サミット)(～27日)	
上・中旬	■ ブラジル、ルセフ大統領弾劾を巡る投票(上院)、■ 「ニッポン一億総活躍プラン」のとりまとめ	

(信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。スケジュールは予告なしに変更される可能性があります。)  
※上記は過去のものおよび予定であり、将来を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。